

事業所向け自己評価集計結果（公表）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8/8	0/8	0/8	学習室や遊戯室等区別している。	今後も適切に部屋を使い分けながら、活動を行う。
	②	職員の配置数は適切である	7/8	1/8	0/8	来所する児童の特性や希望休を組んで配置してくれている。	夕方、職員が少ない時がある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6/8	1/8	1/8	全てバリアフリーではないが、危険防止策としてブザーや柵、情報伝達はライン・口頭で伝えている。	手すりや柵を設置して、児童が安全に過ごせるように取り組んでいる。今後も続けていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7/8	1/8	0/8	毎朝、玩具、手すりの消毒、掃除を行っている。	毎日、消毒や空気清浄機を使用している。今後も環境整備を行っていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7/8	1/8	0/8	ケース会議を開き、皆で意見を出し合っている。	一日の振り返りを業務終了後や翌朝に行うようにする。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7/8	1/8	0/8	事業所から保護者向けのアンケートを出し、評価を頂き、改善につなげている。	コロナでママ会も行われていないため、保護者との連携をより取るように行っていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5/8	3/8	0/8	社長と面談が行われたり、保護者の面談の内容は、職員会議やラインなどで流される。	この結果をホームページに掲載していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3/8	5/8	0/8	アンケートを実施している。	保護者にもアンケートに答えて頂いている。
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8/8	0/8	0/8	月に1度勉強会が行われ、研修がある場合情報をくれる。	引き続き、勉強会や研修を行っていく。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	8/8	0/8	0/8	保護者の意見を踏まえ、ケース会議を行い個別支援計画が作成されている。	保護者の話を聞いて、客観的に分析して、個別支援計画を作成していく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8/8	0/8	0/8	個人のファイルに特性や情報が記載されている。	今後も契約時にアセスメントシートを説明しながら保護者に記入をしてもらう。
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援・放課後等デイサービスガイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8/8	0/8	0/8	発達支援・家族支援を主にしており、地域支援があまり出来ていない。	ガイドラインを参考にしながら、支援に必要な項目も考慮している。

	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われている	7/8	1/8	0/8	毎日の活動は長期短期目標に沿って支援が行われている	短期・長期目標を設定し、それに沿って支援している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5/8	3/8	0/8	ケース会議で意見を出し合っている	ケース会議を行い、職員間で共有している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7/8	1/8	0/8	職員が意見を出し合い多様化している	児童の特性や成長に合わせて、活動を決めている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成している	8/8	0/8	0/8	その子の特性に応じて支援内容を作成している	毎日、個別活動、集団活動を行うように心がけている。支援計画も適宜組み合わせることで作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3/8	5/8	0/8	以前は朝の申し送りがあったが、今は職員会議やラインで行っている	支援内容は毎日カルテで確認をしている。気になったことは、業務終了後や朝に共有しているが、役割分担などは今後検討していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2/8	6/8	0/8	打ち合わせをするときもある	気づいた点は、職員間で共有している。気付いた点は報告してもらうようにしている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8/8	0/8	0/8	カルテに毎日記載をして、疑問に思ったところは共有している	日々の支援に関しては、記録を執っている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	8/8	0/8	0/8	ケース会議を行い、保護者の方にも話を聞いている	定期的に面談を行い、保護者と意見を交換して、個別支援の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6/8	2/8	0/8	参加している	担当者会議は最もふさわしい者が参画している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5/8	3/8	0/8	相談員や学校など連携を取っている	情報共有をしている。引き続き、連携を図っていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5/8	3/8	0/8	学校にお迎えに行った際に職員と申し送りをしている	送迎時に申し送りをしている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4/8	4/8	0/8	保護者の方から様子を聞いている	送迎時に申し送りをしている。便秘の時のイチジク浣腸や痰の吸引は看護師の免許を持った職員が行っている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6/8	2/8	0/8	送迎時やケース会議で情報共有している	情報共有や相互理解を図っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6/8	2/8	0/8	送迎時に情報共有をしている	情報共有や相互理解を図っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや通所支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4/8	4/8	0/8	研修の場を設けてもらっている	研修を受けている。

保護者への説明責任等	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0/8	3/8	5/8	戸外活動で触れ合うことがある。	特別、交流は持っていない。今後の課題として取り組んでいく。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1/8	7/8	0/8	特別参加をしていないが、地域の活動に参加している。	特別参加はしていないが、地域の活動には参加している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8/8	0/8	0/8	連絡帳やラインにて情報共有を行っている	送迎時に、その日の様子を伝えている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0/8	8/8	0/8	保護者から連絡があると、話をする場を設けている。	セミナーに参加が出来そうであれば、お知らせをしている。
	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7/8	1/8	0/8	契約時に話をしている	契約時に書面と口頭で説明している。
	㉕	ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	7/8	1/8	0/8	契約時に説明を行い、保護者からの質問にも対応している	支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8/8	0/8	0/8	送迎時や連絡帳で様子を聞き、電話でも話している	電話や直接会って、相談に応じたり、助言を行っている。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4/8	4/8	0/8	月に1度のママ会にて連携支援している	コロナのこともあり、保護者に動画を送ったりしている。今後、開催を検討中。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8/8	0/8	0/8	電話、ライン、面談にて相談を受け、迅速、丁寧に対応している	相談があった場合は、なるべく迅速に対応している。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8/8	0/8	0/8	通信を渡している	定期的に通信を発行している。イベントがある際は、事前に紙面でお知らせをしている。
㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	8/8	0/8	0/8	承諾なしに第三者に個人情報を公開していない。	承諾なしに第三者に個人情報を公開していない。	
㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8/8	0/8	0/8	連絡帳や電話で伝えるようにしている。	連絡帳や電話で伝えるようにしている。	
㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1/8	3/8	4/8	今の所、実施できていない。	今の所、実施出来ていないため、今後行うことを検討している。	
㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3/8	5/8	0/8	月に1度避難訓練を行っている	利用児童がいる中で月に1度職員と一緒にやっている。	
㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3/8	3/8	2/8	月に1度行っている	月に1度、火災発生時や地震発生を想定した避難訓練を行っている。	
㉟	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8/8	0/8	0/8	個人ファイルに記載されており、職員全員把握している	個人ファイルで確認をしているが、顔色、体温等で健康状態を把握している。	

非常時等の対応	③⑧	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6/8	2/8	0/8	個人ファイルに記載されており、対象児童に関しては提供しないように注意をしている	事前にアレルギーの確認を行っており、対象児童に対しては提供しないようにしている。
	③⑧	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8/8	0/8	0/8	問題が起こると記載して情報共有をしている	ヒヤリハットがあった場合、報告書を提出してもらい、職員間で共有出来る様にしている
	③⑧	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7/8	1/8	0/8	勉強会で行っている	研修の機会を設けるようにしている。
	③⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	7/8	1/8	0/8	契約時に保護者に説明を行っている	保護者には契約時に説明をして、同意を得ている。活動を行う中で、個別支援計画に反映している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。